

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公表番号】特表 2006-528737 (P2006-528737A)

【公表日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2006-050

【出願番号】特願 2006-532521 (P2006-532521)

【国際特許分類】

D 2 1 F 1/10 (2006.01)

D 2 1 F 7/08 (2006.01)

【F I】

D 2 1 F 1/10

D 2 1 F 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 20 日 (2007.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機械に直交する方向 (C D) の横系の上層と、
C D 横系の底層とが、多層布を形成するように、機械方向 (M D) の縦系と一緒に織られ
；且つ

前記底層が、摩耗側の横系より小さな直径の C D パッキング系を有し、該 C D パッキング系が隣接する C D 横系の間に挿入された；

抄紙機用布であって、

布の通気性を有意に損なうことなく、或いは布の厚さを増加させることなく、布の隙間容積が減少することを特徴とする抄紙機用布。

【請求項 2】

機械方向 (M D) の縦系と C D 横系の上層が、布の形成側を形成し、且つ

M D 縦系と C D 横系の底層が、布の摩耗側を形成する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 3】

形成側の C D 横系の底層側 C D 横系に対する比が、1 : 1 より大きいことを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 4】

上層が、平織パターンで織られた紙形成層であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 5】

パッキング系が、布の C D 安定性を増加させることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 6】

パッキング系が、布の継目強度を増加させることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 7】

パッキング系が、摩耗側横系の横の動きを減少させることを特徴とする請求項 1 に記載

の抄紙機用布。

【請求項 8】

少なくとも M D 系の一部が、ポリアミド、ポリエステル、ポリブチレンテレフタレート (P B T) 又はポリエチレンナフタレート (P E N) 系であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 9】

少なくとも C D 系の一部が、ポリアミド、ポリエステル、ポリブチレンテレフタレート (P B T) 又はポリエチレンナフタレート (P E N) 系であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 10】

当該布が、形成布、プレス布又は乾燥布であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 11】

M D 縦系、C D 横系又はパッキング系が、円形断面形状、方形断面形状又は非円形断面形状を有することを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 12】

M D 縦系、C D 横系又はパッキング系が、多繊維又はケーブルにした系であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。